

黒河(くろこ)の会便り 第 34 号

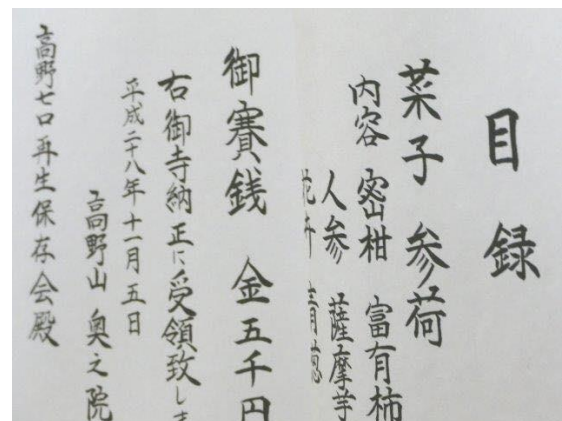
◆ 黒河道トレッキング

11 月 5 日高野参詣道トレッキング実行委員会による、世界遺産登録記念トレッキングが快晴のもと行われました。7 時 30 分橋本駅前広場で受付、145 名の参加をうけて、順次賢堂の出発式広場会場に集合、8 時より平木市長の挨拶のあと、「やどり温泉・玉川峡コース」45 名、「高野山・根本大塔祈りのコース」50 名、「高野山・雑事のぼりコース」50 名に分かれ、賢堂定福寺にて生地住職の道中安全祈願を受けて元気に出発しました。



雑事登りには橋本高等学校登山部 1・2 年生 6 名が雑事籠を背負い協力してくださいました。高野七口再生保存会としては 3 回目の雑事登りでもあり、御供所にて奥之院維那(ゆいな)の高野山金剛峰寺法会部長 稲葉法研僧侶 に蔬菜類と目録を納めました。

今回は伊都振興局職員、橋本市職員、市観光協会、高野七口再生保存会、橋本観光ガイドの会、その他高野町、かつらぎ町からのスタッフの協力を頂き無事トレッキングを終えました。ご協力くださいました皆さま、ありがとうございました。



◆定福寺什物・宝物展

現在、賢堂の紫雲山定福寺にて十三仏彫板画と什物・宝物展が開かれています。十三仏彫板画は、大阪府阪南市の彫板家 田村 茂氏が、世界遺産登録記念として奉納されたもので、信者の皆さまの奉納記帳を募っています。また、定福寺に御保存されている什物・宝物類も数多く展示されており、安永7年(1778)に奉納された両界曼荼羅や室町時代後期に仏師によって彫られたと推測される木造の獅子狛犬像ほか念佛講、堂座講などに使われる什物類も展示されています。世界遺産高野参詣道・黒河道(くろこみち)入口にある地域の文化財をこの機会にご覧ください。11月30日まで。



◆道標見つける

江戸時代後期の石の道標が発見されました。高野山への道標とみられ「右かうや道」(旧かな使いで高野山→カウヤサン)と彫られています。橋本市横座の山中の畑にて残土に埋もれていた物を玉川峡愛好会の 上西 進氏が偶然発見し、くろこの会に譲渡してくださいました。黒河道が世界遺産へ追加登録されたと同時に発見されたことは弘法大師のご縁のようでもあります。高野参詣道・黒河道の道標として道沿いに建てる予定です。



◆子継地蔵お守りグッズ

黒河道が高野七口の一つで有ることが証明された有力な決め手は高野町の子継峠の祠に祀られた地蔵石仏の発見です。石には

香春峠(こつぎとうげ) 永正壬申九年八月廿二日

檢校(けんぎょう・高野山の最高位の高層) 重任

と刻まれており、子継地蔵は安産・子孫繁栄などの謂れで信仰されていました。この石仏をデザインしたお守りグッズを世界遺産登録記念として作成しました。定福寺、はしもと広域観光案内所、玉川峡のやどり温泉いやしの湯などで販売しています。



黒河の会 山本 一清